

平成 20 年 4 月 21 日

平成 19 年度「教育研究支援プロジェクト経費」成果報告書

プロジェクトチームの代表者 部・講座等名 幼年発達支援

氏 名 橋川 喜美代

プロジェクトの名称	省察から研究へと子ども理解を深める保育者育成指標の構築	配分 予算額	1,590,000 円
プロジェクトの概要	本プロジェクトは、2つの目的から構成されている。まず、第1の目的は、学生たちの自然体験が子ども理解に及ぼす影響である。大学構内の多目的広場における子どもたちとの遊びの経験によって、子どもへの共感や実践への省察から、理論的に子どもを研究することへと学生の認識を高めることが、学生の子ども理解をどのように深めるのか、その関連性を明らかにすることにある。平成19年5月、6月、10月、11月、平成20年1月に実施した5回の活動内容は、春の自然遊び、大型シャボン玉、秋の自然遊び、風と遊ぶ、等であり、活動の前後では指導計画の作成、及び振り返り（反省会）を行った。また最後には、テレビ会議システムを利用した合同反省会を開催し、附属幼稚園の教員・保護者、大学の教員を交えた学生らの省察から研究への喚起の場とした。 一方、第2の研究目的である「保育者育成指標の構築」では、保育実践力の概念を4領域から整理し直し、評価指標を作成した。		
成果の概要	① 学生における実践への省察と子ども理解 ・学年が進むごとに実践への省察と子ども理解が深まる 3年生はこれまでの保育実習や幼児とのかかわりを経験として生かし、大型シャボン玉を中心とした活動の計画を立案・実施に当たっても、計画に左右されることなく、臨機応変な対応や子どもの主体的な遊びに沿ったかかわりが展開できるようになってきた。2年生は昨年の自然プロジェクトの経験を生かして、多目的広場の環境整備等に目が向くようになった。主に秋の自然遊びを中心とした活動の計画・立案にも挑戦し、子どもの思いを踏まえた振り返りも可能となってきた。1年生は子ども、特に幼児とのかかわりも、遊びの計画も、すべてが初めての経験であった。「何をしていいかわからない」状態から、回を重ねるごとに、自分の動きが先輩達のアドバイスによって修正可能となり、1月には「風と遊ぶ」活動の計画を任せられるまでになった。こうした観点からも、各学年による振り返りの機会は、保育実践の改善に有効であることが明確となった。		

・子ども理解にもとづいた教材研究の重要性

特に、自然プロジェクトの貴重な成果は、附属校園実習に出る前に、附属幼稚園の教員からの指導助言を受け、子ども理解に基づいた教材研究を実地に学ぶことである。活動の計画を行うごとに、学生たちは子ども理解に基づいた教材研究を行うことの重要性に気づいていく。また、子どもと実際にかかわることで、自然それ自体が子どもたちの主体的な遊びに及ぼす影響や、予想を超えた子どもたちの動きや言葉に戸惑うことなく、どのようにかかわるべきであったのかを細かく反省し、次の実践に生かす動きが学生たちに生まれてきた。そして、学生同士の役割分担などの省察も振り返りの中から見出され、「子どもから」学ぶことの重要性を確認するようになった。

②保育者としての資質の評価指標の構築

第1に、「保育実践力」についての概念の整理を行った。保育実践力に関する先行研究や、保育者養成校として実習（幼稚園・保育所）の評価を行ってきた経験から、保育者が身に付けておくべき実践力に値する項目を設定した。鳴門教育大学「教育実習の手引き」における自己評価観点や立岩ほかからの保育の質尺度を参考に、「保育実践力」の構成概念として「教育課程・指導計画の知識と理解」「幼児理解（指導計画の立案と環境構成）」「具体的援助法」「保育の省察と評価」の4つを想定した。各構成概念の領域ごとに質問項目を作成した。幼児教育・保育養成に携わる研究者2名によって、これら質問項目に関する表現の適否について吟味と内容的妥当性の検討を行い、その結果60の質問項目を確定した。

第2に、作成した項目の保育に関する専門性や理論的妥当性を検討するために、質問紙調査を実施した。調査では、この60項目の「保育実践力」の重要度を、4段階評定（「かなり重要」「やや重要」「少し重要」「あまり重要でない」）による回答から求めた。また、「保育実践力」尺度の基準関連妥当性を検討するために、立岩ほかによって作成された保育の質尺度の中から保育者の保育姿勢尺度の項目について、4段階評定による回答を求めた。質問紙調査は、全国の大学・短大を含む保育士・幼稚園教諭養成校436校の教員を対象として質問紙法により実施した。

- （注） 1. 箇条書き等により簡明に記入すること。
2. 概要については、800字程度にまとめること。
3. 研究協力者として院生等が参加している場合、院生等の報告書があれば添付すること。
4. なるべくパソコン等で作成願います。